

## 第2次千葉市文化芸術振興計画 事業視察シート

視察者

椎原 伸博

基本施策名	基本施策5_文化芸術によって千葉の魅力を「活かす」 (1)魅力ある資源の活用	
事業名	初音ミク「マジカルミライ 2021」	
実施主体	市	(名称) 千葉市 市民局生活文化スポーツ部 文化振興課 文化振興班
会場	幕張メッセ国際展示場10・11ホール 企画出展エリア 千葉市ブース	
日時	令和 3年 11月5日 (金) 13時 00分 ~ 14時 00分	

## 【チェックポイント】※以下の点に着目して評価してください。

評価指標2 戦略的な視点・基本姿勢との適合	
(1)市民主体	<input type="checkbox"/> 工夫により改善 (評価の理由) 市のメディア芸術振興策として、全国的に著名な「初音ミク」関連のイベントに市のブースを出店し、千葉市がメディア芸術の振興に寄与していることを発信する事業と思われる。 具体的には、初音ミクとコラボした市章のデザインマークを撮影すると、缶バッジを配布するというものであるが、他のブースのようにアプリをダウンロードした人に景品を渡すといったようなハードルはなかった。その分気軽に撮影して配布できてアピールできたが、それがどのくらいの成果を得たのかについて、調査する必要があるだろう。せめてSNS発信を促すなどの工夫が必要であると思われた。 また、この事業はPRであるので、市民主体という視点は弱く、たとえば同時期、市のホームページに同じデザインの市章が掲示されていたことを市民に喚起させ、浸透させるなどの工夫が必要だろう。
(2)子ども・若者	<input type="checkbox"/> ほぼ妥当 (評価の理由) このイベントは子ども、若者が中心のイベントであり、千葉市が初音ミクを支援しているというスタンスを示すことで、メディア芸術への関心は高まるであろう。当日は、千葉市モノレールもブースを出し、ラッピング車両の運行も行い、子どもや若者だけでなく全世代への波及効果はあるだろう。
(3)領域の広がり	<input type="checkbox"/> ほぼ妥当 (評価の理由) 全国的なイベントであり、その来場者に千葉市をアピールできたことは評価できる。この場合の「領域」を、メディア芸術産業への波及と考えると、まだまだ弱いだろう。たとえば、コラボデザインのキャラクターを活用することが考えられるが、限られた予算では限界があるにせよ、なにかしらの工夫の余地はあるだろう。

## その他(評価すべき点・改善すべき点・気づいた点など)

※評価指標1(3)他の基本施策への波及に該当する取組が見受けられた場合はこちらに記載してください。